

キヤンブ
桑江南側地区



まちづくり
基本計画

概要版

令和2年3月
北谷町

はじめに

「キャンプ桑江南側地区まちづくり基本計画改定版」とは…

目的 「キャンプ桑江南側地区まちづくり基本構想（平成17年2月）」及び「キャンプ桑江南側地区まちづくり基本計画（平成22年3月）」を踏まえ「キャンプ桑江南側地区まちづくり基本計画改定版」を策定し、キャンプ桑江南側地区の新たなまちづくりの方向性を示すこと

内容 跡地利用を取り巻く環境の変化、周辺環境や社会状況の変化のほか、基本計画策定以降に北谷町が進めてきた各種調査検討・結果を踏まえ、本地区の将来の姿を示す“まちづくりの基本目標”“まちの基本的構成（将来像）”を設定しました

キャンプ桑江南側地区位置図



まちづくりの基本目標

まちづくりの基本目標を設定するため、「目指す都市機能」、「まちづくりの基本設定に向けた理念」、「計画改定に向けた新たな視点」を整理しました。

目指す都市機能

- ①沖縄県の経済振興の核として、北谷町の活力や賑わいを高めるまちづくり
- ②将来の人口減少を見据え、持続可能でコンパクトな都市づくり
- ③北谷らしさを生かした魅力ある定住の場の創出
- ④北谷町の新たな中心市街地として、知の拠点の形成
- ⑤住む人・訪れる人をもてなし、訪れやすさを高める交通結節拠点の形成

まちづくりの基本目標の設定に向けた理念

●沖縄そして北谷らしさを紡ぐ、自然、文化を守る

- ・沖縄の伝統的な集落形成に留意し、市街地を取り囲む緑や海、歴史文化を保全する
- ・海への近接性（親水）、海への眺望、豊かな緑との共生を育む

●個々の魅力を高め、それらをつなぐことでまちの多様性を育む

- ・それぞれのエリアが持つ卓越した魅力を高め、新たに生み出す
- ・個性を住み分けることで、まちの多様性を育むとともに、それらを有機的につなぐことで、北谷の魅力をさらに洗練する

- ・伝統的な集落形成（背山面水）
- ・市街地を囲む緑の保全と活用（緑のネットワーク、うるおい環境）
- ・美しい景観や街並みの創出
- ・西海岸地域の都市型リゾートとの連携
- ・洗練された観光地に連続する高質な住宅地の創出
- ・北谷町の新たな中心市街地の形成

計画改定に向けた視点

北谷町の都市づくりを牽引する
新しい中心市街地について

西海岸の都市型観光拠点と連携した、
新たな中心市街地の形成

シンボル性の高いタウンコアの形成
(拠点等をつなぐコア、人の交流を生みだす場)

交通結節点としての地区の玄関口
(渋滞解消、公共交通利用の促進)

北谷町の財産をつなぎ合わせる
都市づくりについて

北谷町の「まち」「山」「海」、それらを「国道58号」等の
都市軸でつなぐ都市づくり

交通結節点としての地区の玄関口（前述）となり、
周辺市町村をつなぐ拠点づくり（渋滞解消、公共交通利用の促進）

北谷町にふさわしい
職住近接型市街地について

本町で不足する産業系土地利用を充実
し、業務地（インテリジェントエリア）
の誘導による都市のコンパクト化

海外とのネットワーク構築、企業の育成
等を推進し、実効的な産業振興
(北谷町の特性を活かした産業振興)

グローバル化に対応できる人材の育成とその人材を育てる拠点と観光拠
点等の連携による国際交流拠点の構築（将来訪れる人口減少に対応した
若い人の定住、働く場の確保、北谷町の強み（個性）の強化）

まちづくりの基本目標

美しい自然に囲まれ、洗練された都市の空間の中で
人びとが安全に安心して住み、学び、働き、集い
地域の再生が未来と世界につながるまち

まちづくりの基本方針(目標を達成するため共有する方向性)

北谷の財産をつなぎ、
北谷町全体の魅力を高めるまちづくり

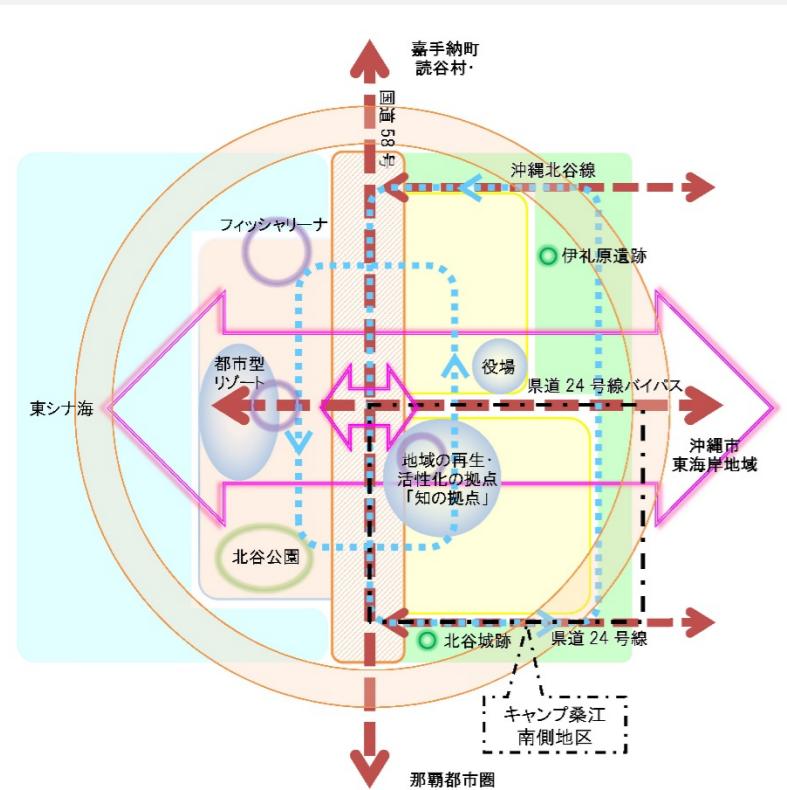
美しい自然と調和した風格ある
(高質でうるおいある) 定住のまちづくり

学び、働く人々の交流が北谷の未来へ
の活力を創出するまちづくり

都市間及び地域間の連携と人と環境に
やさしい交通が整うまちづくり

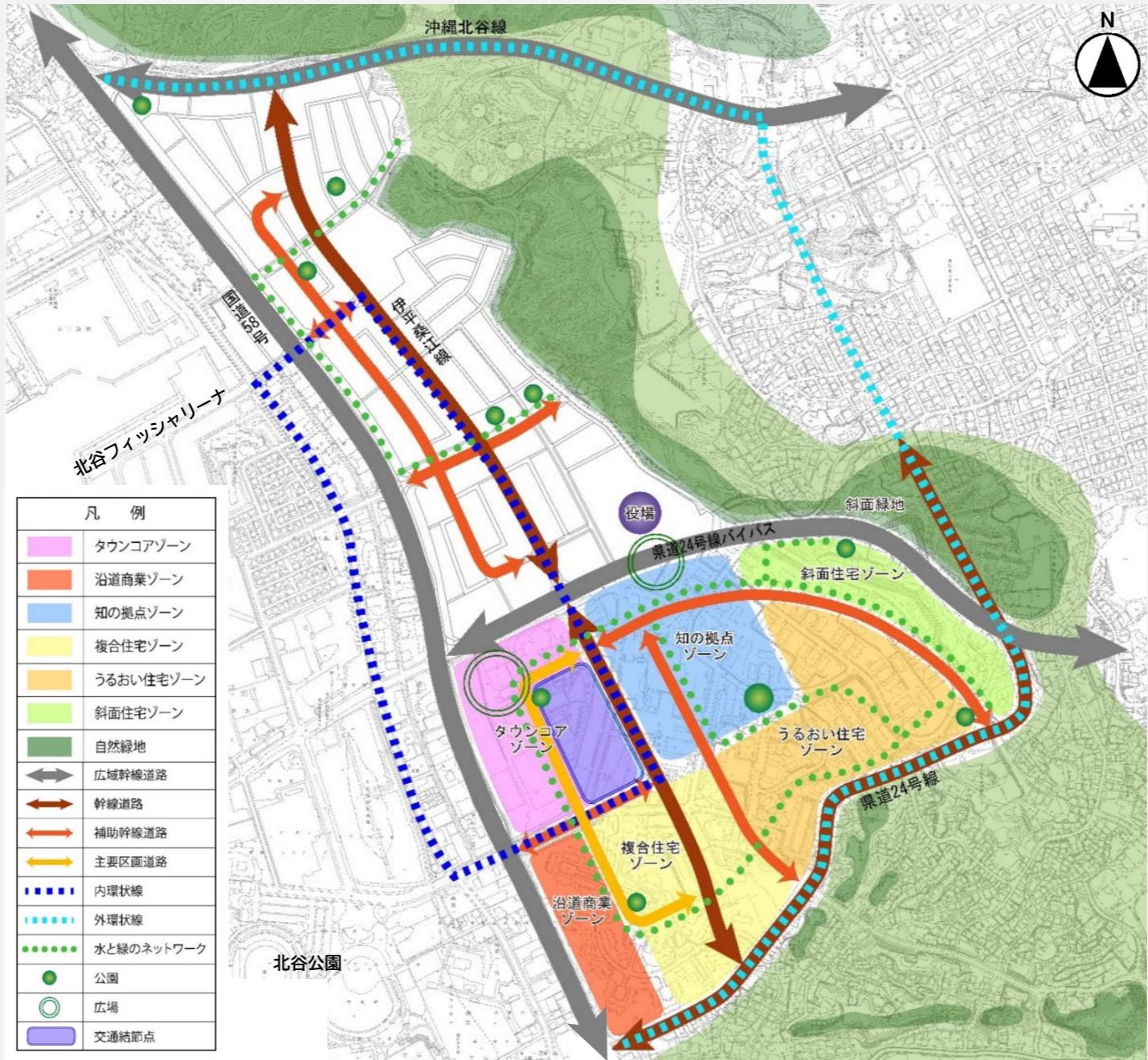
将来にわたり持続的に発展していく
まちづくり

まちの基本的構成(将来図)



- ちゃたん交流コア**
北谷町及び都市圏の活力と交流を生み出す
- シンボル軸**
中部都市圏や各エリアを結び、人やものが流れる中心軸
- 拠点**
それぞれの特色ある都市機能が集積したエリアの核
- 市街地ゾーン**
拠点などを核として特色のある土地利用を創出する
- ネットワーク**
周辺都市との交流を促進する広域幹線道路や各エリアをつなぐ歩行者ネットワーク・新たな公共交通

まちづくり方針図



自然緑地

○都市にうるおいや憩いをもたらし、沖縄の文化や自然をつなぐ緑地の保全を目指します

自然緑地ゾーン

市街地を取り囲む北谷グスク、伊礼原遺跡をはじめとした文化資源との一体性を確保し、**自然緑地を保全する**



商業地

○人・もの・ことが集まり、ちゃたん交流コア及びシンボル軸の玄関口となる賑わい商業地の形成を目指します

タウンコアゾーン

賑わい広場、交通結節ゾーン及び商業空間が一体となった、人・もの・ことが集まる賑わい空間がある北谷町の**新たな中心市街地の玄関口**

沿道商業（賑わい）ゾーン

高質な都市空間を演出する商業地、**地区全体の賑わいを創出する**



教育・業務地

○地域の再生・活性化の拠点となる学び・働く教育・業務地の形成を目指します

知の拠点ゾーン

学び・働く機能を誘導する土地利用を図る(大学関連施設や教育施設、研究機関など)



住宅地

○北谷の新たな魅力を創出する自然と調和した安全・安心なうるおいある住宅地の形成を目指します

斜面住宅ゾーン

優れた眺望と周辺の自然植生と調和する、高質でうるおいある低層住宅地

うるおい住宅ゾーン

新しい中心市街地にふさわしい、高質でうるおいのある都市空間の住宅地

複合住宅ゾーン

隣接する既存住宅地との連携を図り、緑豊かな職住近接型の中高層住宅地





令和2年 3月

発行

北谷町 総務部 企画財政課

跡地利用推進係